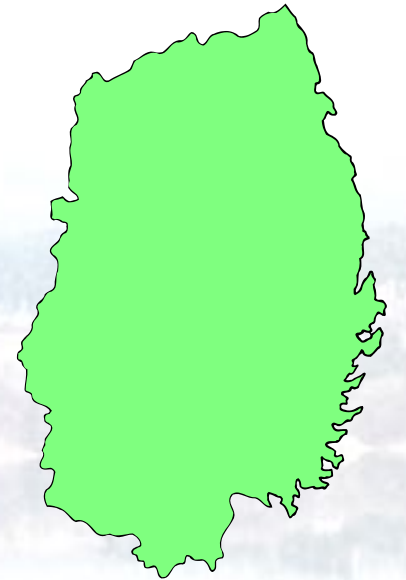


公務員獣医師職員の業務紹介

～岩手県～



そばっち



おもっち



こくっち



とふっち



うにっち

® わんこきょうだい

例えば…

身近な県獣医師の仕事

安全で安心な食肉を提供するために…

畜産分野

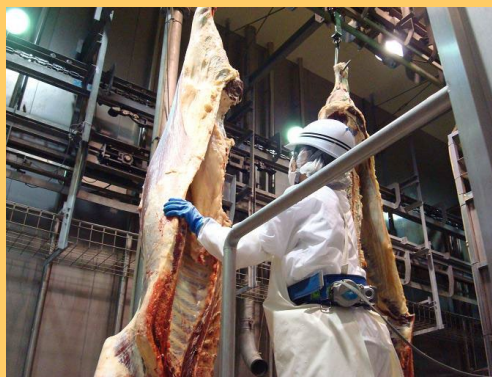
農場・生産現場



家畜保健衛生所

公衆衛生分野

食肉処理施設、加工施設



食肉衛生検査所



保健所

Farm To Table (農場から食卓まで)

岩手県獣医師職員の職場

○ 畜産分野

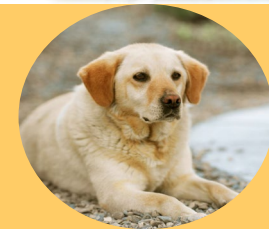
- 家畜保健衛生所
- 農業研究センター畜産研究所
- 県立農業大学校
- 本庁、振興局



61名

○ 公衆衛生分野

- 振興局・保健所
- 食肉衛生検査所
- 環境保健研究センター
- 本庁



45名

～岩手県～



そばっち



うにっち

岩手県の獣医師職員が活躍する さまざまな職域

- 岩手県の獣医師職員は、これからの希望あふれる岩手を築くため、「食料供給」、「安全・安心」、「保健福祉」などの分野で、大きな役割を担って活躍しています。
- それぞれの職場では、職員が獣医師としての能力を最大限に発揮できる環境が整い、高度な知識・技術を修得するとともに、仕事を通じて学位取得や特許取得の道も開かれています。

岩手県獣医師職員が活躍する主な職場

	所属	主な業務内容
畜産分野	農林水産部（畜産課等）	畜産振興
	広域振興局農政部、農林振興センター	地域の畜産振興
	家畜保健衛生所	家畜伝染病の防疫、畜産生産性の向上支援
	農業研究センター	畜産最先端技術の研究
	県立農業大学校	畜産学生に対する教育、研修
公衆衛生分野	環境生活部（環境生活企画室、県民くらしの安全課、自然保護課）	食の安全・安心対策、動物愛護、自然鳥獣保護
	保健福祉部（医療政策室等）	人の健康促進、感染症対策
	広域振興局保健福祉環境部	食品衛生、環境衛生、動物愛護
	食肉衛生検査所	食肉・食鳥検査
	環境保健研究センター	食中毒、感染症の診断、研究

畜産分野

家畜保健衛生所

家畜の病気の予防、伝染病のまん延防止に取り組み、畜産農家を支援しています。



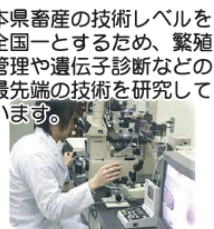
家畜伝染病予防法に基づく検査



放牧地での畜体消毒

農業研究センター

本県畜産の技術レベルを全国一とするため、繁殖管理や遺伝子診断などの最先端の技術を研究しています。



受精卵の分割



体内受精卵の回収

県立農業大学校

将来の本県畜産の担い手を育てるため、学生の教育、研修に取り組んでいます。



講義風景

農林水産部（本庁）

畜産の振興のため、生産から流通までの総合的な施策立案、事業実施に取り組んでいます。



いわて牛やいわて短角和牛の流通促進



企画の立案検討

公衆衛生分野

食肉衛生検査所

安全な食肉を供給するため、病気の診断や安全性の検査を実施しています。



精密検査



牛の枝肉検査

環境保健研究センター

ひとの食中毒や感染症診断、環境検査など、本県保健医療の充実を図るための研究を進めています。



PCR検査



BSL3検査室での検体操作

保健福祉環境部（保健所）

食中毒や感染症の予防など、県民の安全・安心な生活を支えています。



食中毒予防の啓発活動



愛護動物の飼い方相談

環境生活部・保健福祉部（本庁）

食の安全・安心、動物愛護、自然鳥獣保護、感染症対策に関わる施策の企画、事業の実施に取り組んでいます。



関係省庁との調整、企画立案

<給与・諸手当>

- 初任給（令和6年度採用者）
230,100円
- 初任給調整手当（令和4年度～）
毎月5万円/15年間漸次減額
- 家畜保健衛生手当
17,600円/月

- と畜検査手当
給料月額8%

<研修制度>

- 県職員としての基本的な研修
- 専門職員の養成研修

岩手県獣医師職員の配置状況 [令和6年度]

○ 畜産分野【農林水産部】		人数（うち女性）
出先機関	家畜保健衛生所	48（21）
	畜産研究所	4（0）
	農業大学校	2（1）
振興局	農政部、農林振興センター	1（0）
本庁	農林水産部 畜産課	5（1）
	農林水産部 他課	1（0）

計61名
(23)

○ 公衆衛生分野【環境生活部・保健福祉部】		人数（うち女性）
振興局	保健福祉環境部（保健所）	11（4）
出先機関	食肉衛生検査所	25（15）
	環境保健研究センター	4（2）
本庁	環境生活部	4（1）
	保健福祉部	1（0）

計45名
(22)

職場の配置状況

● 振興局・保健所

● 食肉衛生検査所

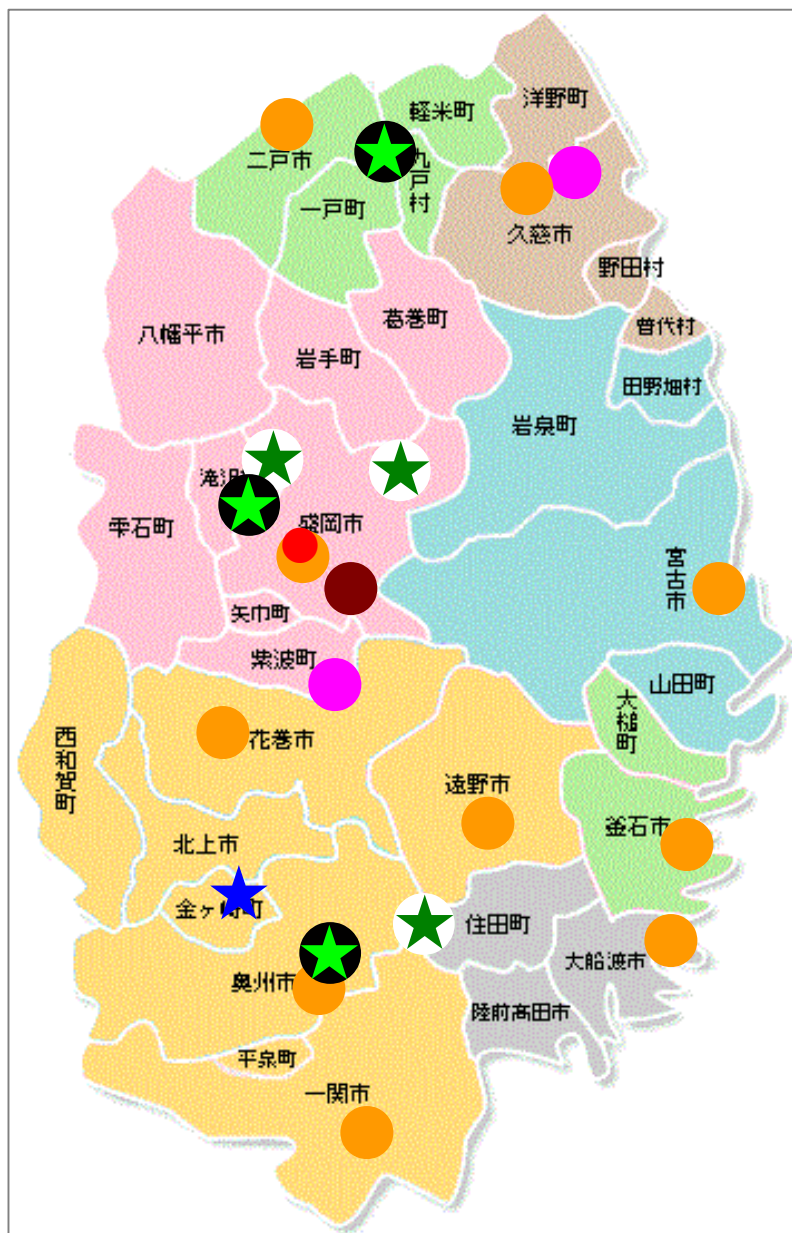
● 環境保健
研究センター

● 本庁

● 家畜保健衛生所

★ 畜産研究所

★ 農業大学校



畜産分野

主な業務内容

- 家畜伝染病の発生予防、まん延防止対策
- 生産性を阻害する疾病の予防対策
- 畜産振興に関する試験研究
- 畜産経営体の後継者育成
- 畜産振興に関する行政事務

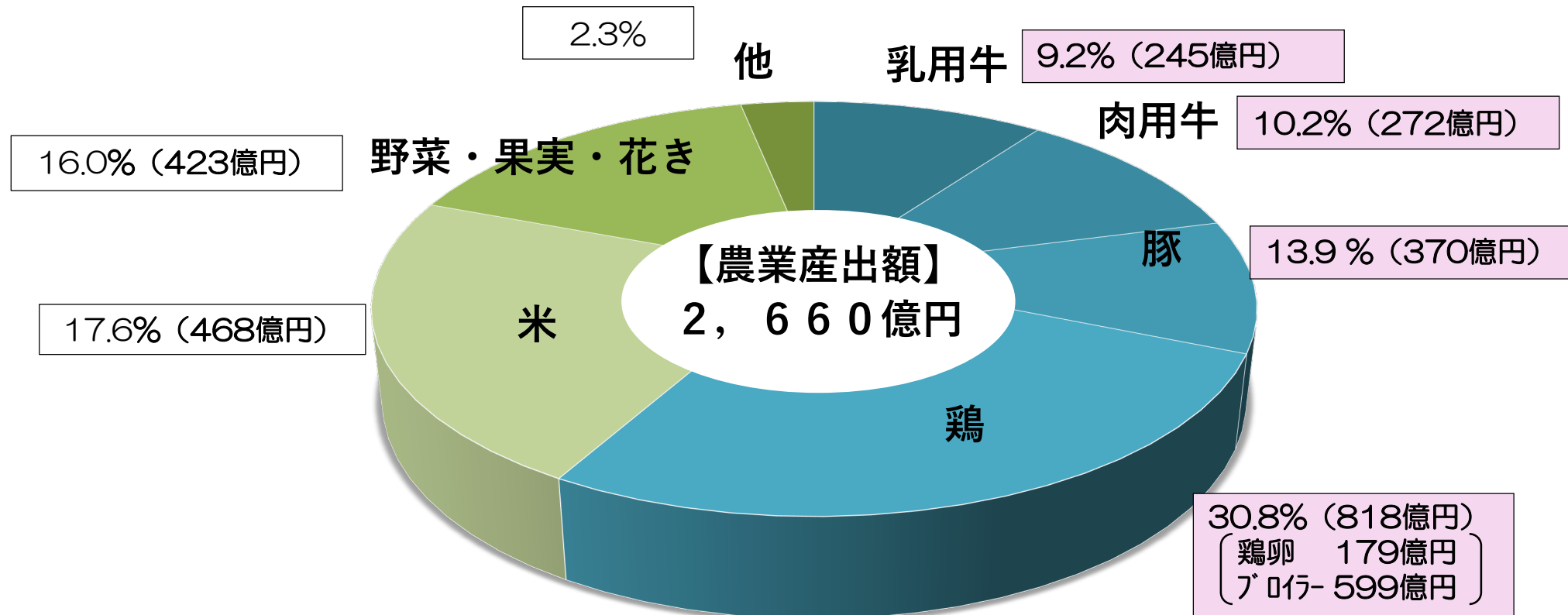
主な勤務先

家畜保健衛生所、畜産研究所、農業大学校、本庁

岩手県の農業産出額（畜産部門）

〔令和4年次〕

畜産部門（1,714億円）は、農業産出額の半分以上を占める



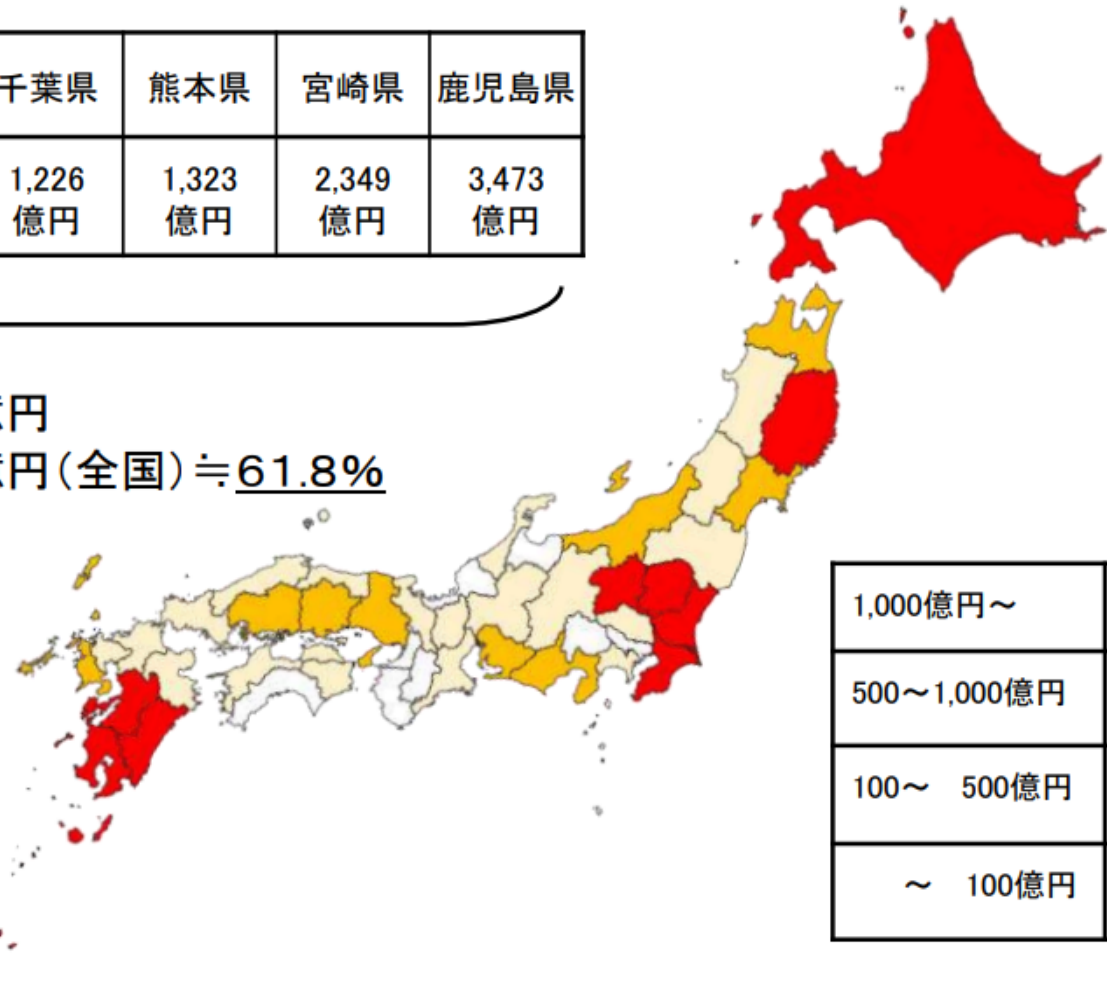
畜産の都道府県別産出額

- ・ 産出額を都道府県別に見ると、1,000億円以上が9道県(北海道、岩手県、茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、熊本県、宮崎県、鹿児島県)となっており、この9道県で全国の約62%を占める。

北海道	岩手県	茨城県	栃木県	群馬県	千葉県	熊本県	宮崎県	鹿児島県
7,535 億円	1,714 億円	1,340 億円	1,262 億円	1,215 億円	1,226 億円	1,323 億円	2,349 億円	3,473 億円

計 2兆1,437億円
÷ 3兆4,673億円(全国) ≒ 61.8%

～ 岩手県 ～
全国第4位の畜産県



1,000億円～	
500～1,000億円	
100～ 500億円	
～ 100億円	

資料:農林水産省「令和4年農業産出額(都道府県別)」

注:都道府県別の数値は中間生産物(子豚等)が重複計上されているため、前ページの数値とは一致しない。

岩手県の畜産 全国順位

農業産出額（畜産部門）第4位

飼養頭羽数の全国順位

乳牛 第4位

肉用鶏 第3位

肉牛 第6位

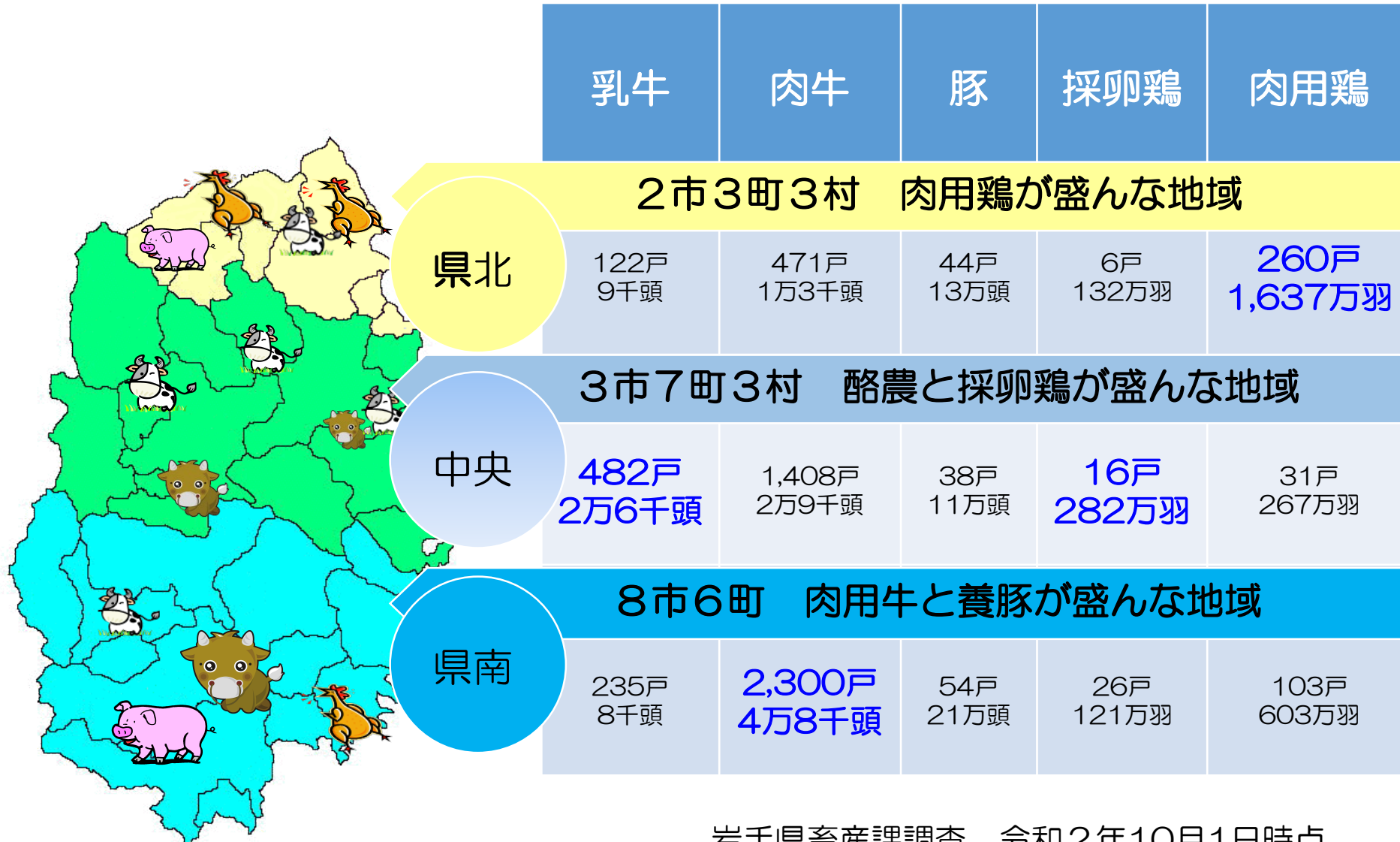
採卵鶏 第17位

豚 第6位

農林水産省畜産統計
（令和5年2月1日調査）

バランスのとれた畜産県

岩手県の地域別家畜飼養状況



家畜保健衛生所

安全安心な畜産物を安定供給するため、
家畜の病気の予防や、
伝染病のまん延防止に取り組み、
家畜の飼養者（畜産農家）を支援しています。



- ◆ 牛ヨーネ病、牛伝染性リンパ腫、豚熱、高病原性鳥インフルエンザ等、家畜伝染病の検査と予防対策の指導
- ◆ 呼吸器病、下痢症、繁殖障害など、生産性の低下要因を検索し、改善策を指導
- ◆ 不明疾病の病性鑑定
- ◆ 地域で問題となっている疾病を解明するための調査・試験



対象となる「家畜」とは

牛、馬、豚、家きん（鶏・あひる等）
めん羊、山羊、蜜蜂・・・など



家畜保健衛生所の業績（令和5年度）

【論文発表】

- ① 赤血球貪食Tcellによる牛のリンパ腫/白血病, 岩獣会報（5月）
- ② A multiplex real-time RT-PCR system to simultaneously diagnose 16 pathogens associated with swine respiratory disease, J Appl Microbiol（11月）

【学会発表】

獣医学術東北地区学会（9月）

- ① 牛ウイルス性下痢ウイルス2a亜型及び同抗体が共存する持続感染牛の初確認事例
（地区学会長賞）
- ② 一地域における鶏伝染性喉頭気管炎の多発事例
- ③ 牛呼吸器病関連病原体12種を検出するマルチプレックスRT-qPCRを用いた病原体による子牛のBRDCステータス評価

日本獣医師会獣医学術学会年次大会（12月）

- ① 牛ウイルス性下痢ウイルス2a亜型及び同抗体が共存する持続感染牛の初確認事例
- ② 牛呼吸器病関連病原体12種を検出するマルチプレックスRT-qPCRによる牛群の呼吸器病発症リスクの評価



畜産研究所



県の畜産を発展させるため、
技術開発の研究や種雄牛の改良を行っています。

- ◆ 肉用牛の生産コストを低減させる飼養管理技術の確立
- ◆ 肉質、増体に優れた黒毛和種・日本短角種の種雄牛造成
- ◆ 受精卵の受胎率向上のための試験研究
- ◆ 疾病に強い遺伝子等の解明と、それを生かした系統造成



農業大学校



農業の後継者育成のため、
教育や研修を行っています。
同校の家畜の飼養管理や治療も行っています。

- ◆ 実践教育を通じ、将来の畜産の担い手として必要な技術力、経営管理能力を養成
- ◆ 飼養している乳牛と肉牛の健康・飼養管理、治療
- ◆ 生産物である生乳、子牛、肥育牛の出荷・販売



本庁（畜産課）



県の畜産振興のための施策を立案・推進し、
畜産物の生産に携わる関係者を支援しています。

- ◆ 家畜の疾病の監視、
発生予防・まん延防止のための調査
- ◆ 豚熱や高病原性鳥インフルエンザ等の侵入防止対策指導、
県内発生時の初動体制の確保のための研修
- ◆ 畜産経営を支援する助成事業、価格安定のための補填事業
- ◆ 規模拡大のための生産基盤整備（牛舎、機械、堆肥処理等）



公衆衛生分野

主な業務内容

- 食肉や食鳥肉の安全性確保
- 感染症や食中毒に関する試験研究
- 食品営業施設の監視指導、研修会等開催
- リスクコミュニケーション
- 食品の安全性確保のための検査、調査
- 動物愛護の啓発活動、野生鳥獣の保護・管理
- 公衆衛生に関する行政事務

主な勤務先

振興局・保健所、食肉衛生検査所、環境保健研究センター、本庁

振興局・保健所

県民が安全で安心な生活を送ることができるよう、食中毒の未然防止や動物の適正飼養に関する取組を行っています。



- ◆ 食品営業施設、集団給食施設等に対する衛生監視指導、食品衛生に関する講習会の実施
- ◆ 犬の登録・注射及び動物の所有者明示の推進、市町村への支援
- ◆ 動物愛護の啓発活動
 - ・ 犬や猫の譲渡事業
 - ・ 動物愛護週間事業
 - ・ 適正飼養講習会
- ◆ 動物取扱業者に対する指導



食肉衛生検査所

食肉や食鳥肉の安全確保を図るため、食肉の検査、と畜場や食鳥処理場の衛生管理指導を行っています。



- ◆ と畜検査、BSEスクリーニング検査による疾病・異常肉の排除
- ◆ と畜場や食鳥処理場の立入検査、衛生管理指導
- ◆ 食肉中の残留有害物質（農薬、動物用医薬品）の排除
- ◆ 食肉輸出関連業務
 - 認定施設の現場検証
 - 衛生証明書発行
 - 国や輸出相手国の査察対応
- ◆ と畜検査データの還元



環境保健研究センター

県民の健康と環境を守るための技術的拠点として、試験検査、監視測定、調査研究、情報発信を行っています。

- ◆ 感染症・食中毒発生時の試験検査
- ◆ 食品の収去検査
〔検査項目〕 食中毒菌、残留農薬、食品添加物、動物用医薬品、貝毒、遺伝子組み換え食品等
- ◆ 感染症情報の提供、研修会の開催
- ◆ 調査研究
 - ・ 生食用カキのノロウイルス不活化
 - ・ 小児呼吸器病ウイルスの分子疫学



本庁（県民くらしの安全課）

食の安全安心、食育、動物愛護、狂犬病予防等に関する施策を立案・推進し、より安全安心なくらしの実現に向けて事業の推進に取り組んでいます。

- ◆ 食の安全安心のための計画策定、事業の推進
- ◆ 食の安全安心リスクコミュニケーションの実施
- ◆ 食品の適正表示の推進
- ◆ 食の安全安心関係危機管理体制の整備
- ◆ 食育の推進のための計画策定、事業の推進
- ◆ 動物愛護、狂犬病予防のための計画策定、事業の推進

本庁（自然保護課）

人と自然が共生する社会を目指し、生物多様性の確保に関する施策を立案・推進しています。

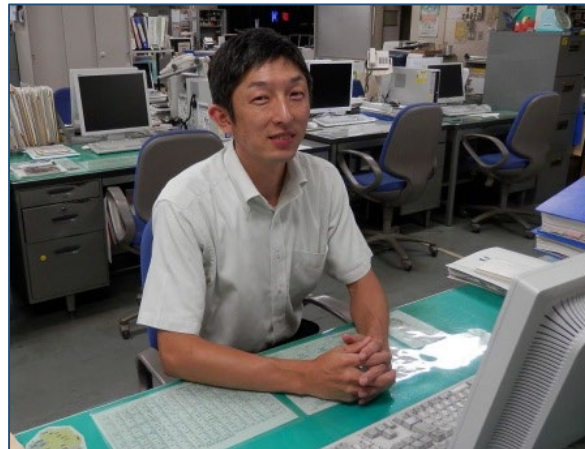
- ◆ 希少野生生物の保護（イヌワシ等）
- ◆ 野生鳥獣の保護及び管理（シカ、クマ、カモシカ等）
- ◆ 野生鳥獣の救護、鳥獣保護センターの管理運営
- ◆ 狩猟鳥獣の捕獲制限、捕獲許可、
狩猟免許試験、狩猟者登録、狩猟事故防止
- ◆ 野鳥の高病原性鳥インフルエンザ検査、
感染野鳥確認時の対応
- ◆ 外来生物の防除



本庁（医療政策室）

県民の健康を守るため、感染症対策に関する施策を立案・推進し、危機管理事案への体制を整えています。

- ◆ 感染症予防計画の策定・進捗管理、対策マニュアル策定
- ◆ 新型コロナウイルス感染症、新型インフルエンザ、結核、エイズ、エボラ出血熱、ワンヘルス理念に基づく動物由来感染症への対策
- ◆ 感染症の発生動向調査、予防接種状況調査



専門研修（他機関主催）

■ 家畜衛生講習会

- 国立研究開発法人動物衛生研究部門で受講
- 基本講習、特殊講習（牛疾病、豚疾病、鶏疾病、海外悪性伝染病、獣医疫学）、総合講習…3～12日間
- 病性鑑定（ウイルス、細菌、病理、生化学）…6か月間

■ 家畜衛生研修会

- 病性鑑定担当者が、毎年、国立研究開発法人動物衛生研究部門で受講
- 部門別に4日間開催

■ 中央畜産技術研修会

- (独)家畜改良センターで受講
- 新任畜産職員、畜産行政、肉用牛、酪農、養鶏、飼料、放牧、畜産環境保全、畜産経営、食肉流通等…3～5日間

■ 各種学会

専門研修（畜産課主催）

■ 病性鑑定技術研修

- 中央家畜保健衛生所で受講
- 口蹄疫、豚熱、高病原性鳥インフルエンザ、炭疽、牛ウイルス性下痢の病性鑑定技術習得…1～2日間

■ 症例検討会

- 毎年、1回以上開催

■ 県業績発表会

- 毎年1月に開催
- 優良演題は、北海道・東北ブロック、全国発表会に選抜

公衆衛生分野 専門研修（他機関主催）

■ 食肉衛生検査研修

- 国立保健医療科学院で受講
- 「食肉衛生」に関する体系的知識、微生物管理、生産段階での対策等…18日間

■ 食品衛生危機管理研修

- 国立保健医療科学院で受講
- 食品衛生行政分野に関する体系的知識、食品由来疾患の調査、リスクアナリシス等…15日間

■ 各種学会

公衆衛生分野

専門研修（県民くらしの安全課主催）

■ 岩手大学受託研究

- 岩手大学に食肉衛生検査所職員を研究員として派遣（6か月間）
- 業務に関係する研究課題（細菌学、病理学、理化学、寄生虫学等）について、指導教官の指導の下、研究を実施

■ 食の安全安心担当業務研究発表会

- 毎年2月頃開催
- 優良演題は、各種学会に派遣

待遇

■ 給与・諸手当

- 初任給 230,100円（令和6年度採用者）
- 通勤手当、住居手当、獣医師手当又はと畜検査等手当
- 初任給調整手当（15年間、令和4年度より初年度3万5千円を5万円に引き上げ）

■ 期末・勤勉手当

- 年2回支給、勤務成績により支給率を上積み

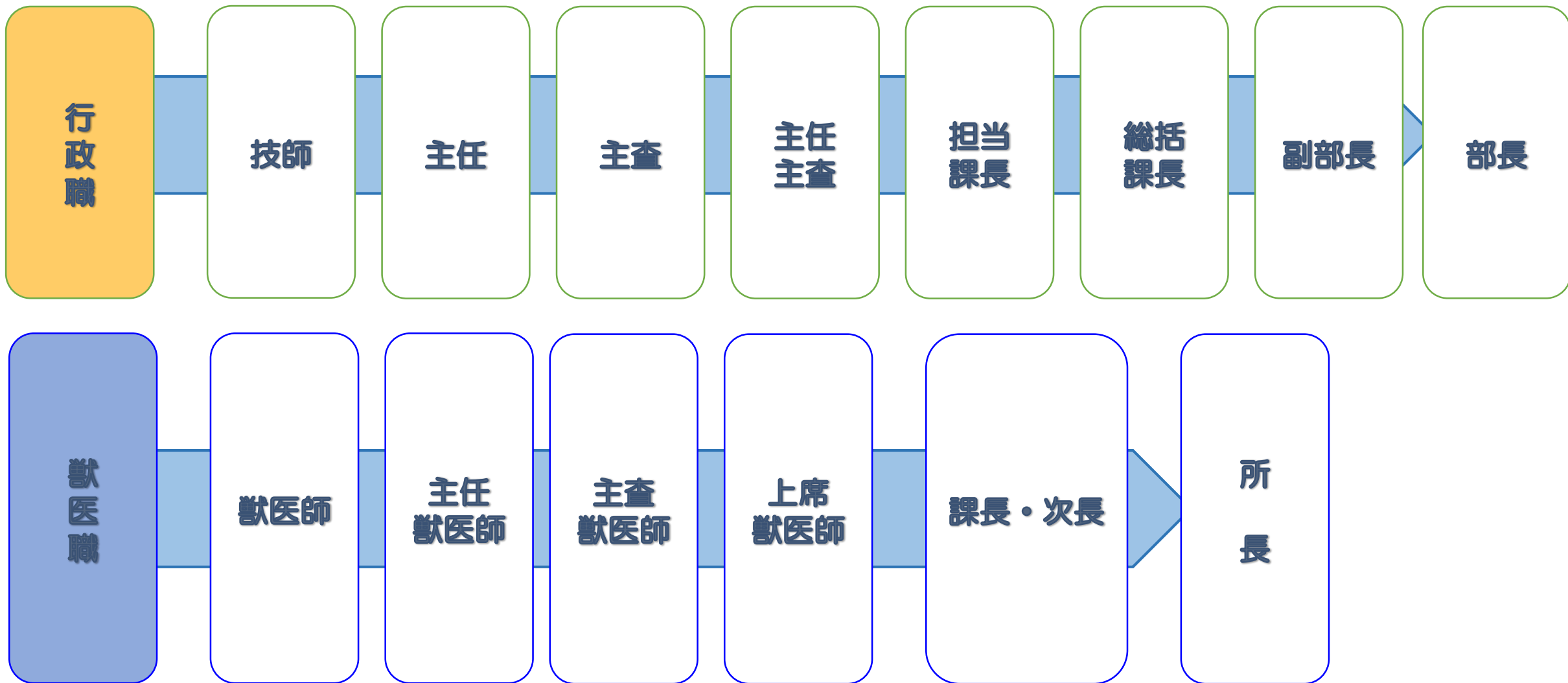
■ 休暇

- 年次有給休暇 20日（初年度15日）
- 夏季休暇 5日
- 特別休暇（結婚、産前・産後、忌引、介護、ボランティア、リフレッシュ、キャリアアップなど）

■ 研修制度

- 県職員としての基本的な研修、専門職員の養成研修

昇任



子育て支援制度

■ 産前・産後休暇

- 産前8週間、産後8週間

■ 育児休業

- 3歳になるまで（男女ともに取得可能）

■ 他の休暇・休業

- 保育時間（1日2時間以内、1歳6か月になるまで）
- 子の看護休暇（年間5日以内、6年生まで）
- 育児参加（職員の妻の産前産後8週の期間に、5日の範囲内）

■ 育児短時間勤務

- 小学校入学まで

■ 手当金

- 出産費、誕生祝金
- 育児休業手当金

岩手県 獣医師職員 ここがいい!!

バランスの良い畜産県だから・・・

症例が豊富であり、日々の業務を通じて経験を積み重ね、自分の知識や技術
を高めることができる

広大な県土において、牛、豚、鶏などの家畜に触れながら、畜産振興や後継
者育成に関わる業務に従事できる

臨床獣医師や畜産指導者と連携しながら、家畜飼養者への指導やサポートを
実施できる

食の安全に力を入れている県だから・・・

高度な衛生管理水準のと畜場において、牛肉輸出の支援業務に従事できる

県民の健康を守るための、最先端の研究に打ち込める

岩手県 獣医師職員 ここがいい!!

公務員だから・・・

幅広い分野業務（家畜衛生、公衆衛生、自然保護、医療政策等）
を経験でき、広い視野が培われる

獣医師以外の専門家と共に働ける環境にあり、関係機関・団体の
職員とも交流を深められる

公共の利益を目指す業務であり、責任とやりがいを感じられる

休暇制度が充実しており、
アフターファイブや休日に、
趣味や家庭サービスを優先できる



先輩獣医師職員に聞きました！

自分自身の視野や見識を深めていくと共に豊かな人生を形成していける職場です。

自分の得意な分野を活かして仕事をすすめられることにやりがいを感じています。

自分の知識・技術を日々向上できることをうれしく感じています。

獣医師が携わる県の業務は、試験・研究、家畜防疫・衛生指導、畜産・保健衛生行政と多岐にわたっており、広い視野で多くのことを学ぶことができますと思います。

様々な専門の方と一緒に仕事をする機会も多く、獣医学の奥深さと幅広さを感じる仕事です。

牛とともに仕事ができる楽しい職場です。自然に恵まれ、畜産県である岩手は獣医師の職場としてやりがいのあるところですよ。

公的な利益のためですが、何かを追求するにはとてもよい環境です。様々な人がいてお互い刺激になります。

岩手県職員（獣医師）募集要項〔令和6年4月1日採用分〕概要①

1 職種、採用予定人員及び職務内容

職 種	採用予定人員	職 務 内 容
獣 医 師	6名程度	本庁、家畜保健衛生所等における家畜衛生に関する業務又は本庁、保健所、食肉衛生検査所等における公衆衛生に関する業務に従事します。

2 応募資格

令和6年4月1日における年齢が45歳未満の者（昭和54年4月2日以降に生まれた者）で、獣医師法（昭和24年法律第186号）の規定による獣医師免許を有する者又は採用までの間に取得する見込みの者。

日本国籍を有しない方も受験できます。（「日本国籍を有しない受験希望者の皆さんへ」をお読みください。）
また、別途募集する、有資格者を対象とした採用試験の受験者も重ねて受験できます。

ただし、次の各号のいずれかに該当する者は、応募できません。

- (1) 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- (2) 岩手県職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- (3) 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

岩手県職員（獣医師）募集要項〔令和6年4月1日採用分〕概要②

3 受付期間及び応募手続

受付期間	令和6年4月24日（水）～令和6年5月31日（金） 郵送の場合は、令和6年5月31日（金）までの消印のあるものに限りま
提出書類	(1) 履歴書(所定の様式による用紙を使用し、最近3か月以内に撮影した上半身正面縦4.5cm、横3.5cmの写真を貼付したもの) <別添様式1>…………… 1部 (2) 獣医師免許証の写し(獣医師免許を取得した者に限る。)…………… 1部 (3) 卒業(見込)証明書及び成績証明書(最終学校のみで可)…………… 各1部
申込方法	郵送の場合 封筒の表に『獣医師応募』と朱書きし、簡易書留扱いで送付してください。 【送付先】〒020-8570 岩手県総務部人事課（住所の記載は必要ありません。）
	持参の場合 岩手県総務部人事課（県庁4階）に直接お持ちください。 【受付時間】 月曜日から金曜日まで（祝日を除く）の午前9時から午後5時15分まで

岩手県職員（獣医師）募集要項〔令和6年4月1日採用分〕概要③

4 考査の日時、場所及び合格発表

	日 時	場 所 (予定)	合 格 発 表
一次選考	令和6年6月16日(日) 受付 9:30~9:50 試験開始 10:00 (休憩) 12:00~13:00 試験終了 14:30	【岩手会場】 岩手県庁 (岩手県盛岡市内丸10-1) 【東京会場】 都道府県会館4階 404会議室 (東京都千代田区平河町2-6-3)	令和6年7月上旬 (受験者全員に通知します。)
二次選考	令和6年7月中旬 (一次選考合格通知で指定する日時)	岩手県庁等 (一次選考合格通知で指定する場所)	令和6年8月上旬 (受験者全員に通知します。)

岩手県職員（獣医師）募集要項〔令和6年4月1日採用分〕概要④

5 考査の方法及び内容

考 査 方 法		内 容
一 次 選 考	教 養 試 験 (40 題 2時間)	公務員として必要な一般的知識及び知能について多肢選択方式による筆記試験を行います。(50 題中 40 題選択解答制) 【出題範囲：社会、人文及び自然に関する一般知識並びに文章理解、判断推理、数的推理及び資料解釈に関する一般知能】
	論 文 試 験 (1 題 1時間 20 分)	職務遂行に必要な識見、表現力、判断力、思考力などを有しているかどうかをみるために記述式による筆記試験を行います。
二 次 選 考	適 性 検 査	職務遂行に必要な適性を有するかどうかについて検査を行います。
	口 述 試 験	人柄や性格、職務遂行能力等をみるために個別面接を行います。

岩手県職員（獣医師）募集要項〔令和6年4月1日採用分〕概要⑤

6 勤務条件等

(1) 給与(大学(6年)を卒業直後に採用された方の場合)

職 種	初任給額 (令和6年4月1日現在)
獣 医 師	230,100 円

※1 上記のほか、採用された職員や勤務の状況に応じて初任給調整手当(上限50,000円)、扶養手当、通勤手当、住居手当、期末手当、勤勉手当などが支給されます。

なお、民間給与の動向に応じて、別に給与の改定が行われる場合があります。

※2 初任給調整手当は、大学卒業の日から15年を経過して採用された場合は、支給されません。

(2) 勤務時間

原則として、月曜日から金曜日までの午前8時30分から午後5時15分までです。

(3) 休暇

年次休暇、病気休暇、結婚休暇、夏季休暇などの休暇制度があります。

岩手県職員（獣医師）募集要項〔令和6年4月1日採用分〕概要⑥

7 考査結果の開示

考査結果については、受験者本人に限り、口頭で開示請求をすることができます。

開示請求を行う場合には、受験者本人であることを明らかにする書類（マイナンバーカード、運転免許証、旅券等の本人の顔写真が貼付されたもの）を持参の上、受験者本人が開示場所までおいでください。

なお、電話、はがき等による開示請求はできません。

区分	開示請求できる人	開示内容	開示期間	開示場所
一次選考	一次選考受験者 (本人に限る。)	得点及び順位	二次選考合格発表の日から起算して 1月間（受付時間は、土曜日、日曜日及び祝日を除く午前9時から午後5時まで）	行政情報センター (岩手県庁1階)
二次選考	二次選考不合格者 (本人に限る。)	総合得点及び 総合順位		

岩手県職員（獣医師）募集要項〔令和6年4月1日採用分〕概要⑦

8 その他

- (1) 採用予定年月日は、令和7年4月1日です。ただし、この日以外の日には採用されることがあります。
- (2) 獣医師免許取得見込みの者で、令和6年度の獣医師国家試験に合格できなかった場合は、採用できません。
- (3) 本募集要項に記載の日程等が変更となる場合があります（応募書類に記載された連絡先に連絡します。）。
- (4) 本募集要項に係る詳細については、下記にお問い合わせください。

《応募書類提出先》

岩手県総務部人事課人事担当

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10番1号

電話 019-629-5071

《詳細の問合せ先》

【家畜衛生関係】 岩手県農林水産部農林水産企画室総務管理担当

電話 019-629-5627

【公衆衛生関係】 岩手県環境生活部環境生活企画室管理担当

電話 019-629-5327

インターンシップの受入れ

令和5年度は、

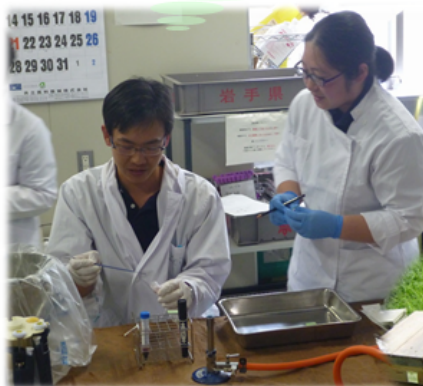
2大学3名を受入れ

岩手大学 2
酪農学園大学 1

毎年度、
夏休みの時期に
実施しています！

岩手県 インターンシップ 獣医師の職場体験コース のお知らせ

どんな仕事をしているの？



やりがいは？



岩手県ってどんなところ？



オフの楽しみ方は？

岩手県の
公務員獣医師の職場を
現役の職員と一緒に
体験してみませんか？

カリキュラムの一例

月 オリエンテーション（業務照会）
病性鑑定業務 1

血液生化学検査、細菌検査、
PCR・ELISA 法、BSE 検査



火 大家畜業務

牛の採血、放牧衛生検査、牛伝染性リンパ腫対策



水 中小家畜業務

養鶏場での指導、室内検査

木 病性鑑定業務 2

ウイルス検査（鳥インフルエンザ等）
病理検査（組織標本作製、顕微鏡検査）



金 畜産研究所業務

繁殖検診、受精卵移植

実施期間及び定員

実施期間 5日間
令和6年8月26日（月）～30日（金）

定員 5名



宿泊費助成

県外の学生*を対象に、宿泊費の一部を助成します（5名まで）

* 県内に帰省先があり研修施設に公共交通機関で通える者を除きます。

宿泊費助成の申し込み

申込方法 下記連絡先にメールでご連絡ください

申込期限 令和6年6月28日（金）まで

連絡先 岩手県農林水産部畜産課（古川 岳大）

TEL 019-629-5722 E-mail : ta-furukawa@pref.iwate.jp

インターンシップ内容（令和6年度）

[大学生対象 家畜衛生コース]

	場 所	内 容
月	家畜保健衛生所	<ul style="list-style-type: none">・オリエンテーション・病性鑑定（細菌検査）
火	家畜保健衛生所	<ul style="list-style-type: none">・豚の防疫業務（豚熱）・鶏の防疫業務（鳥インフルエンザ）
水	家畜保健衛生所	<ul style="list-style-type: none">・牛の防疫業務 （ヨーネ病）
木	家畜保健衛生所	<ul style="list-style-type: none">・病性鑑定 （ウイルス検査、病理検査）
金	家畜保健衛生所 畜産研究所	<ul style="list-style-type: none">・畜産研究所の業務（分娩間隔短縮のための研究）・病性鑑定（生化学検査、BSE検査）

令和6年度 獣医師修学資金貸付対象者の募集について（募集締切済み）

岩手県では、獣医学生を対象に、2つの区分で修学資金を貸付けしています。

1 修学資金の区分と内容

区分	獣医師修学資金貸付	獣医師養成確保修学資金給付
		県の「獣医師修学資金貸付条例」により、県が貸付を行います。
応募資格	将来、岩手県、県内の市町村又は県内に住所を有する農業協同組合若しくは農業協同組合連合会若しくは農業共済組合（以下「県等」という。）において獣医師の業務に従事しようとする者	将来、岩手県において獣医師として家畜衛生の業務（家畜を飼養する農場の家畜防疫対策、衛生管理指導等の業務）に従事しようとする者
募集人数 （募集対象学年）	1名程度 （大学1～6年生）	1名程度 （大学1～6年生）
貸付・給付内容	貸付・給付額	私立大学： 月額 180,000円以内 国立大学： 月額 100,000円以内
	利率	年9%
	貸付・給付期間	貸付を開始した月から借受者が大学を卒業する月までの間において正規の修学年限を超えない期間
	貸付方法	毎月、県が貸付ける
	償還の免除	全額免除
一部免除		貸付を受けた期間の2分の3に相当する期間（※）を、岩手県内の市町村、農業協同組合、農業協同組合連合会、農業共済組合で従事した場合、月額70,000円の貸付額に相当する額を免除。 従事した期間が2分の3に相当する期間（※）に満たない場合、従事した期間に応じた額を免除

- ① 岩手県内（県、市町村、団体）で獣医師業務に従事しようとする方
⇒ 県職員（畜産分野、公衆衛生分野）、団体の臨床獣医師
- ② 岩手県の家畜衛生の業務に従事しようとする方
⇒ 県職員（家畜衛生関係）

その他	それぞれの規定に基づき、償還が発生する場合があります。 ・貸付・給付が取り消されたとき ・岩手県獣医師採用試験に合格しなかったとき ・大学卒業後、概ね1年以内に獣医師国家試験に合格しなかったとき ・獣医師免許取得後、直ちに業務に従事しなかったとき
-----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※ 月額貸付・給付額が12万円を超える場合は、最大3分の5に相当する期間。
（例：貸付・給付期間6年間の場合、6年間×5/3=10年間）

毎年度、
3月頃に
募集しています！

2 申請

(1) 申請期間 令和6年3月4日（月）～ 令和6年4月5日（金）

(2) 申請書類

- ・申請する修学資金の区分に応じ、下表により書類を提出して下さい。
- ・2つの修学資金を併願することができます。

※併願した場合、貸付・給付する修学資金の区分は、県が決定します。

修学資金の区分	獣医師修学資金貸付	獣医師養成確保修学資金給付
申請書	獣医師修学資金貸付申請書 ^{※1}	獣医師養成確保修学資金共同負担申請書 ^{※1}
添付資料 ^{※2}	①履歴書（市販されているもので可） 縦4.5cm×横4cmの写真を貼付。 ②健康診断書（所定様式） ^{※2} ③親権者等の所得証明書 ④戸籍抄本	
備考	※1 併願する場合は、2種類の申請書に添付書類1部を付して提出して下さい。 ※2 健康診断書の提出が期日に間に合わない場合は、その旨連絡のうえ、準備でき次第速やかに提出して下さい。	

岩手の魅力を満喫してみませんか？



龍泉洞の地底湖



八幡平の樹氷群



浪板海岸



小岩井農場



リアス式海岸



復興力キ小屋



浄土ヶ浜



岩手県 問い合わせ先



環境生活部 県民くらしの安全課

電話：019-629-5322

メール：AC0009@pref.iwate.jp

農林水産部 畜産課

電話：019-629-5722

メール：AF0009@pref.iwate.jp



問い合わせ
お待ちしております！